

第 21 回旭川流域連絡協議会（幹事会）議事録

日 時：平成 18 年 10 月 30 日（月）14:00～16:00

場 所：美咲町林業センター 研修室

参加者：岡山市（本庁、御津支所）、瀬戸町、赤磐市、吉備中央町、建部町、久米南町、美咲町（本庁）真庭市（本庁、蒜山振興局）鏡野町（富振興センター）岡山備前県民局（本庁、東備支局）岡山県美作県民局（本庁、真庭支局）岡山県土木部河川課、国土交通省岡山河川事務所

1. 開会挨拶

【岡山河川事務所 宮崎副所長】

旭川流域連絡協議会幹事会も 21 回目となりました。今回は、継続的にやっております流域の自主防災の中間報告、次年度の予算、11 月 11、12 日に旧落合町で行います「旭川流域シンポジウム」のことにしてお話しさせていただきます。

今年の 7 月 19、20 日の洪水についてですが、お手元の「おかやま河川だより」号外号にて概要をお知らせしております。開いていただきますと気象状況等が書いてありまして、昭和 47 年に次ぐような出水でした。県の西部の高梁川の上流、千屋では 72 時間雨量が観測史上 1 位を示しました。県の北西部では 300 mm を超えるかなりの雨になったということで、台風と比べても、梅雨前線としては雨量が大きかったという事です。

今回洪水の特徴として、最初に開いていただいた右側のページに河川ごとに吉井川・旭川・高梁川と分けておりますが、昭和以降の洪水の中でもかなり上位を占めるもので、高梁川では平成に入ってから最大の洪水です。また、梅雨時期の雨としては、洪水の立ち上がりが非常に早かったため、占用物件等も流出しました。

河川だよりの中程を開いていただくと被害状況がありまして、左側が出水状況の写真です。被害状況につきましては、図面番号は高梁川、が旭川、が吉井川です。新聞等で皆さんご存知だと思いますが、高梁川の総社付近で今まで発生していなかった「基盤漏水」というものが現れまして、河川水位と堤内地の水位のバランスが崩れたことにより、水と一緒に砂が吹き出すなどの被害が発生しています。

今回の洪水と昭和 47 年の梅雨前線での被害と比較しておりますが、その当時の被害状況と比べると流量は同程度であります。河川改修も進めておりますので被害はかなり減っています。ですが、ひとたび浸水しますと、やはり資産自体が高額になっておりますので、浸水面積は増えていないけれども被害額が上がってしまいます。後ほどその点も説明させていただきたいと思います。

裏面には、各河川ごとのポンプ車の派遣状況を載せております。ポンプ車は自治体から岡山県を通じて、要請があれば出動いたします。一昨年の平成 16 年度は高梁川の玉島で出動しましたが、今回は、吉井川では赤磐市徳富地区、旭川では平成 16 年度に締め切った中原川で出動しました。中央写真に照明車が写っていますが、これは私どもで持っている照明車で

す。セットで前後に排水ポンプ車が1台ずついますが、中原川には2台を派遣しています。一番下には、高梁川の直轄管理区間外ではありますが、上流域の日羽地区で排水を行いました。このような被害は前にもお話ししましたように、以前と比べ雨の降り方が変化してきていますので、流域での災害の相互支援も進めていくことが、今後基本になっていくのではないかと考えております。

今日はいろいろご説明させていただきますので、忌憚のないご意見をいただきまして、首長さんにお伝えしていただきたいと思います。

2. 議事

討議事項

配布資料の議事次第に基づき、以下の討議事項について会議を行なった。

1) 平成18年度活動中間報告について

【事務局】

- ・平成18年度 地域防災モデル地域の取り組み中間報告

【質疑・応答】

特になし

【岡山県危機管理課】

自主防災モデル地域の取り組みについての報告があったが、岡山県危機管理課でも自主防災組織に関して「夢づくりプラン」というものがある。70%の自主防災組織率を目標にしており、今年が「夢づくりプラン」最終年である。自主防災組織の運営に関して資金不足という要望が挙がっているが、市町村が自主防災組織の防災資機材の整備に関して金銭的な補助や現物支給した場合に、県で費用の2分の1ほどを支援するという補助制度があるので、活用していただきたい。

旭川流域連絡協議会で、新規自主防災モデル地域として3地域取り組んでいるが、取り組みに余裕があるようなので、今後も自主防災マップなどを作りたいという自主防災組織や町内会があれば是非ご参加いただきたい。岡山県でもできるだけ支援したい。

【事務局】

- ・「防災・減災フォーラム 2006 in 岡山」報告
- ・旭川流域一斉水質調査結果報告

【質疑・応答】

特になし

【事務局】

- ・平成18年度 旭川流域連絡協議会 中間決算報告(案)

- ・平成18年度 旭川流域連絡協議会負担金納入のお願い

【質疑・応答】

特になし

2) 平成18, 19年度計画

【事務局】

- ・平成18年度旭川流域連絡協議会年間計画(案)について説明
- ・平成19年度支出計画(案)及び負担金割合(案)について説明

【質疑・応答】

【岡山市】

負担金割合について、国・県と流域市町村が折半という考え方はどこからきているのか。この案では、岡山県より岡山市の負担金が高くなり、市財政が逼迫している状況では承諾しかねる。事業費を見直して、負担金の総額を減らすことはできないのか。

【赤磐市】

19年度の予算編成は、11, 12月に決まるので、19年度は18年度と同様の負担額で良いのではないかと。

【岡山河川事務所】

19年度に関しては提示している案で、20年度に関しては事業費も含めて再考することをお願いしたい。

3) 旭川流域交流シンポジウムについて 及び 4) 情報提供

【事務局】

- ・旭川流域交流シンポジウムについて説明
- ・「旭川水系水利用協議会」発足の説明
- ・岡山三大河川・平成17年の水質について説明
- ・コイヘルペスウイルス病について説明
- ・「岡山県の総合流域防災対策」について説明
- ・「まるごとまちごとハザードマップ」について説明
- ・「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」の提言について説明
- ・わかりやすい水防情報の提供について説明
- ・平成19年度 吉井川水防演習について説明
- ・ハザードマップ作成状況についてアンケートのお願い
- ・HP用市町村向け「川の防災情報」について説明

【質疑・応答】

特になし

【岡山河川事務所】

「おかやま河川だより」について、各自治体に20部、首長に3部程度ずつ送っているが、首長から自分の手元にきていないという話も聞いており、配布ルートを確認していただきたい。

【岡山河川事務所】

前回の幹事会の際に、真庭市から幹事会参加者についての提案があった。これまで、真庭市の各支局すべてが参加していたが、支局ごとの情報の受け取り方の差を是正するため、代表として幹事は真庭市本庁と蒜山振興局2名にしたいという提案があった。

今後は真庭市の幹事については、本庁と蒜山振興局の2名とし、規約等の改正は第21回本会で承認された後、行うこととする。

【質疑・応答】(全体について)

【岡山県】

「ハザードマップの作成状況」についてだが、平成19年度に旭川の本川と、支川の備中川、宇甘川を水位情報周知河川に指定する。関係の市町村には別途説明会で情報提供をしているが、水位情報周知河川に指定したことでハザードマップ作成義務が生じる。来年度の早いうちに水位情報周知河川を指定するので、ハザードマップの作成をお願いしたい。

3. 閉会挨拶

【岡山県河川課】

本日は長時間にわたりまして、お疲れさまでした。旭川流域連絡協議会は、川を活かした地域づくり等に関する施策を流域単位で推進するということで、本会に期待されるものは多いと思います。今後とも協議会の会員の相互の緊密な連携によりまして、よりよい川づくり・地域づくりに取り組んでいく必要があると思います。今後ともよろしくお願いいたします。